

山形県の湧水【最上地域】

平成27年11月 山形県調べ

湧水の名称		所在地	概要等	湧水保全活動等
名称	ふりがな			
新 庄 市				
イバラトミヨ保護池	いばらとみよほごいけ	十日町中川原	○周辺は公園となっている。 ○現在は農地整備のための地下パイプで一カ所に集められ、大量の水が出水している。 ○池ではイバラトミヨが保護されている。	野中・中川原イバラトミヨ保全協議会
太田の清水	おおたのすず	十日町会林寺(えいりんじ)南	○指首野(さすの)川の伏流水で河川敷の中から湧き出している。 ○かつて戸沢藩では堀やたんぼに利用し大切に管理されていた。 ○イバラトミヨが生息している。	町内会
清水のお清水	しずのおすず	角沢志津	○個人宅入り口付近に湧き出ている水量も多い。 ○現在も、新庄市内の人や近隣の人々がポリ容器などを持参して水汲みに来ている。 ○志津地域一帯は昔から湧き水が豊富である。	個人
弁慶の清水	べんけいのすず	休場(やすんば)	○休場集落から新田川上流を目指して車道を約5km行くと、この湧き水がある。 ○水量はかなり多い。 ○現在は山菜採りの人や、山仕事の人などが利用している。	保全活動等は無し
谷地小屋の大清水	やちごやのおおすず	十日町	○太田踏切の北西側、たんぼの中に杉林があり、そこに柵で囲まれた人口池がある。 ○イバラトミヨが保護されており、市指定の天然記念物にもなっている。	新庄土地改良区
金 山 町				
お稲荷様の湧き水	おいなりさまのわきみず	宮地区	○神室山(奥羽山脈)への登山者が立ち寄って利用されていた。 ○そばにお稲荷様が奉られており神水の役割もかねていると思われる。	個人
中の森長命水	なかのもりちようめいすい	羽場地区	○旧羽州街道の沿道にある。 ○俳諧師の西田羽長坊の句碑等がある。 ○奥の杉林の中にある湧水を引いたもの。	羽場 壮樹会
柳原の清水	やなぎはらのすずみず	柳原地区	○宮・赤湊線不動橋を渡った所にあり、近くに結城哀草歌の歌碑がある。 ○林の脇にひっそりと湧いており、往来している人が飲用している。	地区
梁場の水	やなばのみず	小蟬地区	○下中田、小蟬の県道釜淵中田線の道路脇に湧き出ている。 ○味のある水であるという。 ○杉林の下、のどかな景色の中にその湧き水がある。	地区
猪の沢の水	いのさわのみず	三枝地区	○農道の沿線にある。	保全活動等は特になし

最上町

赤沢の湧き水	あかざわのわきみず	赤沢	○個人宅の敷地内にある湧き水。 ○湧水地には食用の水草が繁茂(はんも)しており、ヨコタエビなども生息している。	管理は行き届いていない。 雑草が生えている状況にある。
おすず		瀬見温泉街川向	○小国川右岸の河川敷にある駐車場の北側に位置する岩場から湧水している泉(すず)。 ○住民の憩いの場にもなっており、以前は飲料されていた。現在は飲用水としては使用していない。	管理は行き届いていない。
切立泉の水	きったりすずのみず	満沢	○県道沿いの山肌の割れ目から水が絶えず湧き出し岩肌を流れ落ち、地区外の人々にも良質の水として知られている。 ○夏は冷たく、冬は温かな水が湧出する。 ○満沢の人たちが管理し、日常的に利用している。	地区
御前清水	ごぜんすず	本城	○見性寺の裏手、八幡様がある山の西側の岩場から湧出している。地元の人しか行かないような場所にある。 ○すずのある山全体が小国城跡となっており、城主や家臣たちも飲んでいたと伝えられている。 昔は、本城の年寄りや病人が死期の間近になると飲みたがるすずであったという。	地区
さくら清水	さくらすず	瀬見	○'こぶはらさん(小峰神社)'の参道を200mほど登った杉林の中にある。 ○豊かに湧き出た水が絶え間なく流れ出ており、かつては清水を「命の水」と呼ぶ人もいたという。	保全活動等は特になし
白川橋下の湧水	しらかわばししたのわきみず	白川橋	○最上白川に架かる国道47号白川橋の、最西端の橋桁下から滾々と湧き出している。 ○小さな池状となっており、水量は砂の動くのが確認できる程度。○小エビなども生息している。 ○湧き水は清浄で、かつて飲み水として利用した跡が残っている。	管理は行き届いていない。
長寿の泉	ちょうじゅのいずみ	細の原	○個人宅裏の山際から湧き出している。現在は池にすずを引いてイワナと鯉を飼っている。 ○水量は豊富で現在も生活水の一部として利用しており、通りすがりの人々もすず水を飲めるように杓子などを常時用意している。	個人
薬師の水	やくしのみず	満沢	○旧満沢小学校跡地の道路向いに薬師堂(満沢神社)があり、その薬師堂脇の山際から湧き出ている。 ○水量は豊富で、きれいな水である。 ○満沢地区全体で管理しているすずで、多くの地域住民に利用されている。	地区

舟形町

薬師の水	やくしのみず	堀内(松橋)	○松橋の中心にあり、個人宅の玄関脇にある。 ○近くに薬師堂があり千年の歴史を誇る場所でもある。○別名「うが水」ともいわれている。 ○月山(信仰)へ通じる道であったことから、往来する人々の潤いの湧水であったと伝えられている。	石材を加工した水飲み場を設置し、地域保全の意識を高めている。
久之丞の清水	きゅうのじょうのすず	下長沢	○個人宅の庭につくられた水場がある。○水量は豊富である。 ○冬場は周辺の消雪用、夏は植木や庭の花、畑に使用している。 ○昔は養殖したり、生活用水としてなくてはならない命の水であった。	枯渇や汚濁がないように、環境保全に配慮している。
舟形の清水	ふながたのすず	舟形	○猿羽山(さばねやま)トンネル北入口手前の右の道路に入って直ぐの所にあり、山の側面から湧き出ている。 ○住民の方達が手桶に汲んで使用している。 ○水量は多くはない。	保全活動等は特になし

真室川町

殿様清水	とのさましみず	真室川町 大字及位字前 森山	○山形県加藤山自然公園内国有林前森山林道(由利本荘と出羽仙北を結ぶ矢島街道の途中)の岩の間から湧き出している。 ○元禄5年頃、秋田の岩城伊予守重隆という殿様が参勤交代の時、江戸屋敷の妻へ持参したことから名前がついた。	甌山(こしきやま)探究会によって、不定期に清掃活動が行われている
大清水	おおすず	真室川町 大字及位字前 森山	○山形県加藤山自然公園内前森山登山口に湧出している。 ○一見小池のように見えるが、わずかに下流では音をたてて川となっている。 ○弘法大師が見つけたと云われ、別名を「長寿の水」ともよばれている。 ○古くは一帯が修験の山であったとされ、霊水として大切にされてきた。	甌山(こしきやま)探究会によって、不定期に清掃活動が行われている
差首鍋のすず水	さすなべのすずみず	真室川町 大字差首鍋	○滝応寺境内下に湧出している。 ○昔より生活用水として利用されており現在も三軒の家で使用している。 ○側に瀧応寺や地藏様があり、歴史を感じさせ往時を偲ばせる所である。	地元集落が管理

大蔵村

大清水前	おすずまえ	白須賀	○男清水(おすず)・女清水(めすず)の2つの水源があり、女清水は村の簡易水道の水源として利用している。男清水は少し上流にある。 ○水量は豊かで一帯は水草が多く繁茂しており、自然豊かな良好な水源である。	個人の所有であり、個人にて草刈、清掃を実施。
金山の炭酸水	きんざんのたんさんすい	金山	○単純二酸化炭素冷鉱泉で、現在はカルデラ温泉館で飲泉や部分浴として利用されている。 ○温泉入浴後に、この炭酸水を飲用する人も多い。	水源地は現在、村の所有であり、肘折温泉郷振興(株)へ管理委託している。
升玉の清水	ますだまのすず	升玉	○大蔵村南山橋を右に入って県道片倉・塩線を約1Km登った山道の所にある。 ○30m程下流ではワサビ栽培の水源となっている。 ○正面に日陰倉(ひかげくら)が見える景観の良い所でもある。	升玉地区住民が、年3回程度、湧水周辺の草刈、清掃を実施。

鮭川村

上大淵小助の清水	かみおおぶちこすけのすず	上大淵	○古文書の記述にも見える古から利用された「すず」。 ○噴出量も豊かで、水中生物やエビなども見られる。 ○今は集落の人達が大事に整備して守っている。	所有者による周辺の整備及び清掃
湯治の清水	とうじのすず	曲水(まがりがわ)小杉	○羽根沢街道から小杉に通じる道沿いにある。 ○曲川の人々が羽根沢温泉に湯治に出掛ける際に喉を潤したという。	地区住民による草刈り、看板の掲示等
日下の白髪すず	につけのしらがすず	日下	○日下地区から中渡地区への旧街道沿いに湧き出している。周辺を「すず坂」と呼んでいた。 ○近くに白髪沼があり、「雨ごい」の地として信仰を集めていた。	地区住民による清掃・草刈り等 現在は水量がかなり少なくなっている。
庭月観音清水	にわつきかんのんすず	庭月観音境内	○庭月観音本堂から300mほど上った所から引いている。 ○近くには縄文中期の古代遺跡があり、信仰の山「日山」のふもとから湧き出す泉である。 ○あたりを汚すと罰があたると伝わる「命の水」である。	住職による周辺の清掃・草刈り、源泉の泥揚げ、看板の掲示

戸 沢 村

北の妙	きたのみよう	古口(メダカの学校)	<ul style="list-style-type: none"> ○自然豊かな湿地帯でヨシが茂り、山の近くから湧き出している。 ○周りの水たまりや小川ではメダカが泳ぐのを観察することが出来る。秋になると多種類のトンボが飛び交う。 	保全活動等は特になし
清水の家	すずのいえ	津谷	<ul style="list-style-type: none"> ○津谷駅のすぐ近くにある。 ○現在は水道が普及したこともあり、飲み水としてはあまり利用されていない。 	保全活動等は特になし
野呂田の湧き水	のろたのわきみず	上松坂	<ul style="list-style-type: none"> ○松坂より鮭川に向かう途中の野呂田という集落にある湧き水。 ○50年前には飲み水として家庭でも使用していたが、現在は池とたんぼに使用している。 	保全活動等は特になし